

ディベート

令和元年5月15日（水）、「日本の原子力発電は全て代替電力に切り替えるべきである」というテーマで、賛成派、反対派に分かれてディベートを行いました。「第三者を説得する形で多角的な視点で議論する」ことを目標とし、グループに分かれ、情報収集、立論作成、プレゼンテーション練習を通して、ディベートの意義や、必要とされる能力、準備の重要性を体感しました。生徒たちは、いずれの過程も真剣に取り組み、論理的に説明することの難しさと大切さを学びました。

